

第81回 医学教育セミナーとワークショップ

2022年 1月22日(土)～23日(日)(Web開催)

Webinar 医学教育IR室奮闘記～データで医学教育の何を変えられたのか

ML 講師：恒川幸司 (MEDC)

WS-1 医療者教育の研究を立案してみよう(第16回医学教育研究技法WS)

R 企画：医学教育学会 研究推進委員会

WS-2 全集中! – 医療者教育課程でLGBTQ教育を設計・実践しよう

CD 企画：山崎由花 (東京医科大学)、青木昭子 (東京医科大学八王子医療センター)、
吉田絵理子 (東京慈恵会医科大学)、松尾かずな (名古屋大学)

WS-3 患者安全焦点型医療者教育訓練ファシリテータ養成ワークショップ

TL 企画：松本尚浩 (全日本患者安全組織文化学習支援財団)、畔柳信吾 (公立西知多総合病院)、
岡本華枝 (岐阜聖徳学園大学)

WS-4 Web上で利用できるインタラクティブな教材の利用・作成体験会

TL 企画：浅田義和 (自治医科大学)、八木街子 (ハワイ大学)、村岡千種 (北海道科学大学)

WS-5 第1回医療系IR友の会実践会～卒後データ取得の実践と課題

R 企画：恒川幸司 (MEDC)、中村真理子 (東京慈恵会医科大学)、岡田聡志 (千葉大学)、
浅田義和 (自治医科大学)、菰田孝行 (東京医科大学)、柿崎真沙子 (名古屋市立大学)、
佐藤麻紀 (愛知医科大学)、岡田明子 (大阪市立大学)、椎橋実智男 (埼玉医科大学)

1月22日(土)				
13:00-16:00	WS-1	WS-2	WS-3	WS-4
16:15-17:00	Webinar			
1月23日(日)				
9:00-12:00	WS-1		WS-5	

* 記号 (**TL** 等) は、アソシイト認定のための学習領域を表しています。詳細は、MEDCホームページをご覧ください。
* 定員を設けております。申込順にて受け付けいたしますので、ご了承ください。なお、当日の参加は受け付けません。
「Zoom(Web会議システム)」を利用します。今後の改善の参考にするため、録画いたします。ご理解とご協力をお願いいたします。

第82回

岐阜

併催

第23回教務事務職員研修
2022/5/19-21

第83回

関西医科大

2022/10/28-29

第84回

岐阜(Web)

2023/1月

新企画予定中!!

Webinar 医学教育IR室奮闘記～データで医学教育の何を変えられたのか

ML

講師： 恒川幸司 (MEDC)

日時： 1月22日 (土) 16:15～17:00

概要： IRとは、Institutional Researchの略称で、学内データを収集・分析・報告することによって学内の改善を促すことを指す。近年、大学の内部質保証組織としてIRが注目されるようになり、さらに医学教育の観点からは、JACMEによる分野別評価の広がりによって、各医育機関に教学IR組織が次々と立ち上がっている。発表者は、医学部の中では比較的早い時期から、IR担当者としてIR業務に従事してきたと思われるが、自大学の分野別評価の2巡目のサイトビジットが終わりひと段落した今の時点で、Volkweinの『The Four Faces of Institutional Research (IRの4つの機能)』などのフレームワークを基にして、自組織の活動を振り返ってみたい。また、IRの最終的な目標である内部質保証に伴う教育の改善、あるいはその不断的努力の結果であるInstitutional Effectiveness (≒継続的改善) についても同時に考えていきたい。本発表によって、他大学での医療系IR組織の運営や教育改善の一助となれば幸いである。

WS-1 医療者教育の研究を立案してみよう (第16回医学教育研究技法WS)

R

企画： 医学教育学会 研究推進委員会

(田川まさみ、藤倉輝道、石川ひろの、今福輪太郎、大久保由美子、片岡仁美、菊川 誠、武富貴久子)

日時： 1月22日 (土) 13:00～16:00、23日 (日) 9:00～12:00

概要： 質の高い研究を行うためには、研究を始める前に、目的を明確にし、十分に準備し、適切な方法を選択することが不可欠です。本ワークショップでは、医学・医療者教育分野の研究を始めようとしている方を対象として、参加者の皆さんが抱えている・関心を持っている研究テーマについて研究計画をそれぞれ報告していただけます。その上で、目的の明確化、先行研究に基づきリサーチエッセンスや仮説の設定、適切な研究方法の選択、倫理的配慮などに向けて、タスク・参加者と共に議論し、個々のニーズに合わせて研究計画をブラッシュアップすることを目標とします。

対象： 医療者教育研究を計画している方、関心のある方

定員：15名

WS-2 全集中！—医療者教育課程でLGBTQ教育を設計・実践しよう

CD

企画： 山崎由花 (東京医科大学)、青木昭子 (東京医科大学八王子医療センター)、吉田絵理子 (東京慈恵会医科大学)、松尾かずな (名古屋大学)

日時： 1月22日 (土) 13:00～16:00

概要： 医療系モデル・コアカリキュラムは、LGBTQへの配慮を培う教育を求め、カリキュラムへの導入は難しい (山崎、2020)。よって、LGBTQ教育を考案、実践するためのWork Shop(WS)を行う。学修目標は1) LGBTQに関する授業を設計できる (学修目標、方略)。2) 授業計画を阻害する要因を想定し、解決案を提示できる。

参加者は事前に、指定された教材で本テーマの基礎知識をつけWSに参加する。WSはミニレクチャー、Group Work (GW)、発表から構成される。レクチャーではLGBTQ教育の現状 (山崎、2020)、モデルケース、LGBTQ教育が実行できない例を紹介し、参加者はGW1でタスクが指定した異なる科目 (プロフェッショナリズム、産婦人科等) で授業案を作成し、GW2でその計画を阻害する要因 (教員からの不理解、カリキュラムの過密さ等) を挙げ、改善策を考案し、2つのGWの成果を発表する。

対象： 医療系学部の教員、学生、医療従事者など

定員：20名

WS-3 患者安全焦点型医療者教育訓練ファシリテータ養成ワークショップ

TL

企画： 松本尚浩 (全日本患者安全組織文化学習支援財団)、畔柳信吾 (公立西知多総合病院)、岡本華枝 (岐阜聖徳学園大学)

日時： 1月22日 (土) 13:00～16:00

概要： 教育や訓練に関わっている皆様は、あなたの教育・訓練の後に、対象者が目的のような変化を来したと確信出来る場面が多々あるでしょうか？医療安全を担当する皆様は、事故原因を探索してそれを改善する方法に限界を感じていませんか？知識や技術を学習者に与えるだけでは、学習者は自身の現場で変化して実践を改善出来るかどうか不明です。教育・訓練の成果として実践を変えて、その後に効果的な振り返り会話を習慣づける教育・訓練の設計が重要です。また、最近の安全理論safety-IIを応用すると「上手くいくことを増やす」方略で、画期的な安全文化醸成が期待できます。このワークショップでは事前課題に取り組んだ参加者が対話しながら、教育訓練に振り返り会話を導入し、新しい安全理論を用いたファシリテータへと発展する基盤を提供し、参加者が対面する学生や医療従事者が自ら発展する支援者になるような場を創ります。

対象： 医療機関・学術組織の医療者教育・訓練担当、患者安全・医療安全担当者

定員：15名

WS-4 Web上で利用できるインタラクティブな教材の利用・作成体験会

TL

企画： 浅田義和（自治医科大学）、八木街子（ハワイ大学）、村岡千種（北海道科学大学）

日時： 1月22日（土）13:00～16:00

概要： オンライン教育、特に非同期型の教育では、事前に教材を作成して提示する必要があります。MoodleなどのLMSがあればテスト問題を作成して配信することも比較的容易にできますが、すべての施設で利用可能というわけではありません。また、学習者に能動的に学んでもらうため、よりインタラクティブに学習可能な教材を作成したい、という思いもあることでしょう。

本ワークショップでは、Lumi Educationというソフトウェアを紹介し、教材の利用と作成の体験を行います。作成した教材は、Moodle等のLMSであればそのまま活用することが可能です。また、一部の機能は制限されてしまいますが、LMSなしでも利用いただくことができます。コロナ禍のみならず、平時に戻ったあとも利用可能なオンライン教材の作成について、みなさんと一緒に取り組んでみたいと考えています。

【申し込みに当たっての注意事項】以下のURLより、Lumi Educationを事前にダウンロード・インストールしたうえでご参加ください。
<https://lumi.education/>

【インストール手順の簡易マニュアルは以下を参考にしてください。】

https://docs.google.com/document/d/1UjyIFJ6c2ngI4TbAZ0Wkrm-wNZ6j1GTy0_VUpiB7cQA/edit?usp=sharing

対象： オンライン教育において、特に非同期で利用可能な教材作成に興味のある方

定員：30名

WS-5 第1回医療系IR友の会実践会～卒後データ取得の実践と課題

R

企画： 恒川幸司（MEDC）、中村真理子（東京慈恵会医科大学）、岡田聡志（千葉大学）、浅田義和（自治医科大学）、菟田孝行（東京医科大学）、柿崎真沙子（名古屋市立大学）、佐藤麻紀（愛知医科大学）、岡田明子（大阪市立大学）、椎橋実智男（埼玉医科大学）

日時： 1月23日（日）9:00～12:00

概要： 分野別評価を契機とした、医育機関の質保証活動の高まりに伴い、各大学医学部にIR組織が設置されるようになった。しかしながら、医療系の分野別IRでは、機関別IRとは異なった医療系独自のデータが必要になるなどの、特有の課題を呈している。企画者らは、2018年から「医療系IR友の会」を立ち上げ、情報交換の場を設けてきた。その情報共有の中で、継続的な自己評価・改善のための活動における共通の課題が明らかとなってきたが、その一つとして、大学の教育プログラム全体の改善のための卒業生アンケートが挙げられる。IR成立の歴史的背景には、卒業生（アルムナイ）への訴求活動があるが、日本では教学IRとしての定期的な活動は稀であったため、各大学で苦心しているケースが多い。そこで、本ワークショップでは、各大学におけるプログラム評価を目的とした卒業生対象のアンケート調査の実際と課題について議論したい。

対象： 医学教育分野でIRを担当している方、またはIRに関心のある方

定員：50名



参加登録方法

事前登録制です。インターネットから直接お申し込みください。
「MEDC」で簡単検索できます。

申込期間：2021/12/6(月)~12/24(金)

参加費： 2,000円 学部学生無料

(別途システム利用料として220円必要です。)

参加費のお支払いについては、インターネットからお申し込み後、MEDC事務局からの自動返信メールにてご案内いたします。

参加費は、資料ならびにセミナーワークショップの報告が掲載されている「新しい医学教育の流れ」の作成等に使用いたします。

開催方法：Zoom (Web会議システム)

※定員を設けております。申し込み順にて受け付けいたしますので、ご了承ください。

なお、当日参加は受け付けません。今後の改善の参考にするため、ワークショップ等を録画いたします。ご理解とご協力をお願いいたします。

※ ホームページからお申し込みできない方は、お電話（058-230-6470）にてご連絡ください。ワークショップ運営上、各々定員を設けております。申し込み多数の場合、ご参加いただけないこともあります。ご了承ください。

併催
第82回
岐阜
第23回教務事務職員研修
2022/5/19-21

第83回
関西医科大
2022/10/28-29

第84回
岐阜(Web)
2023/1月 新企画予定中!!

医療者教育学の基本を教職協働で学ぶeラーニングプログラム

“医療者教育学スターキット”

2021年12月頃より公開します。

- ★ 医療者教育機関で働き始めたばかりの教員、職員
これから医療者教育学を学んでいきたいかたにむけた
プログラムになっています。
- 🌙 新任の教員、事務職員にむけたFD/SDプログラム
の1つとしてご利用いただけます。

詳しくはMEDCのHPで ↓
<https://www1.gifu-u.ac.jp/~medc/medicaleducation/starterkit.html>



MEDCが提供する学びの^{そら}宙

全国の医療者教育に従事する人を対象として、
“人材育成者の育成”に取り組んでいます。

